

平成 27 年度 第 3 回 学校協議会議事録

日 時：平成 28 年 2 月 16 日（火） 15:30～17:00

場 所：大阪府立桜塚高等学校 応接室

出席者（計 14 人）：委員（中島、中山、伊原、関、関野）（敬称略）

大崎准校長、梶田教頭、宮本事務部長、谷口主査、内田、土井、藤下、根岩

※ 中岸澄江様が来年度の委員を務めるため、オブザーバーとして参加

欠席者（計 1 人）：委員（山澤）（敬称略）

協議内容

1. 准校長挨拶

2. 協議

- 「平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価」と「平成 27 年度 学校教育自己診断」の説明（准校長）
 - 少人数展開の数学や、本校独自の『桜学』、T-NET の活用により、生徒の理解力の向上がみられた。
 - 中学校や府教委、府の方々が視察に来られ、本校が非常に落ち着いた雰囲気の中で授業を行っていることについて賞賛を受けた。
 - 生徒募集に寄与するため、阪急豊中・岡町・曾根の 3 駅に、夜桜ポスターを貼らせてもらっている。
 - 学校教育自己診断の教員用集計結果では「本校は多くの生徒にとって魅力のある学校である」等の項目について肯定率が 100%であった。
 - 学校教育自己診断の生徒用集計結果では、生徒が定時制を選んだ理由として「自分のペースで勉強できるから」等の項目が昨年度に比べて増加していた。
- 「教務部より」（内田）
 - 分かりやすい授業を目指して、多くの教員が視覚的効果の高い ICT を活用している。今後も情報委員会と連携することで、よりよい ICT の活用法を模索する。
- 「生活指導部より」（土井）
 - 非常に良い環境になりつつある。現在の環境を活かして生徒達が本校を卒業後も社会に適応できるよう、在学中に良い習慣を身につけさせる必要がある。
- 「進路指導部より」（藤下）
 - 今年度卒業生の進路としてアルバイトや未定は少ない。また、昨年度の卒業生もそれぞれの進路先で仕事や勉学を継続している。
- 「夜桜通信」及び「学校説明会」について（教頭）
- その他（ご意見）
 - 学校教育自己診断の結果を見て、定時制の実態がよく分かった。中学校校長として、該当生徒には夜桜への進学を勧めたいと考えている。
 - 障がいを持った生徒に対する特別支援はどのようになされているのか。
 - 昨年度に校内に「生徒支援委員会」を設立し、今年度から支援コーディネーターを配置し動き始めている。これまでは担任が主としてそのような生徒の支援と指導を行ってきたが、今後は組織として対応する。
 - 給食はどうしているのか？
 - 喫食率が低いことから、来年度より休止することが決定している。定時制 15 校中 11 校が休止である。再開はないだろう。
 - 桜塚高校定時性課程への入学条件はあるのか？
 - 高等学校卒業者は入学することができない。
 - 女子生徒の登下校指導はどのようにしているか？
 - 不審者情報が寄せられた場合には生徒に周知し、登下校時には十分注意するよう指導している。